



1995～1996年度RIテーマ

真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

Tokyo
Jama
Green
Rotary Club

国際ロータリー第2750地区

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

No.253 6-26
1996.1.17 発行

Weekly Report

ますので本年度もよろしくお願いしたいと思います。
簡単ではございますが一言ご挨拶とさせていただきます。
引き続き会務報告。事務所例会場変更準備委員会の委員選定新旧理事役員及び全パスト会長と決定。

受入派遣留学生等で経済面の関係上皆様方にご寄付
お願い致します。

◎幹事報告

幹事 橋口 洋三

あけましておめでとうございます。下半期ご協力
よろしくお願い致します。

1) 早速ですが皆様のお手元に下半期の年会費の請求
書をお届け致しております。お振り込み手続きの方
を出来るだけ今月一杯(1月31日(水))までに手
配頂きます様お願い致します。

2) 第2750地区、地区大会のご案内が来ています。

本年度の大会のホストクラブは東京銀座RCです。

大会第1日: 3月8日(金) 登録12時、点鐘13時

第2日: 3月9日(土) 登録8時30分、点鐘9時

場所: 東京ベイNKホール

登録について、以前アンケートを提出しました
が、各クラブの会員数の70%以上の登録、会員及び
家族もふるって参加下さいという事です。

登録料は本大会 会員5,000円(第1、2日共通)

家族3,000円(第1、2日共通)

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会: 15,000円

申込締め切り: 1月25日(木)です。

◇ ホテルへの宿泊予約について

お一人様: 25,000円、お二人様: 30,000円

3月9日(土) 地区大会終了後、ディズニーラン

ドへの入場希望の方はお一人様4,300円です。

ご希望の方は、事務局へお申し込み下さい。

地区大会の出欠を回覧で取りますので、ご協力よ
ろしくお願いします。

3) 第2回世界社会奉仕委員長会議のお知らせが来ていま
す。2月23日のチャリティーコンサートについてです。

1月25日(木) 新宿京王プラザホテル

高村世界社会奉仕委員長が出席予定です。

4) プロ、アマ、チャリティーゴルフ打ち合わせ会の
ご案内が来ています。

1月21日(日) よみうりグリーンクラブ

伊神ゴルフ幹事が出席予定です。

5) クリスマスチャリティーバザーの売上金162,000
円は理事会で国際青少年交換委員会へ寄贈する事に
決定しました。

第253回例会報告(1/10)

(1995年～1996年度第26回例会)

司会 SAA委員会委員 杉山 英巳

◎点鐘 会長 萩生田茂夫

◎国歌「君が代」 } ソングリーダー
吉沢 洋景

◎ロータリーソング「奉仕の理想」

◎お客様紹介 会長 萩生田茂夫

宋 珉煥様(米山留学生)

メッテ・アルス・オールセン様(来日交換学生)

◎会務報告・新春挨拶 会長 萩生田茂夫

新年あけましておめでとうございます。昨年は不況
に明けて不況に暮れたという様な1年でありましたか
なあとこんな風に考える訳であります。ましてや国情
に於きましてはオウム事件をはじめ、災害、その他い
ろんな事件がございまして、又新年早々には村山総理
の辞職という様な、めまぐるしい国情でございまし
て、当クラブも5周年事業もございましたし、初めて
留学生を受け入れるという様な事がございました。株
価も上昇し、円安という事で、いくらか経済も回復に
向くのではないかと、そんな風に考える訳でございま
す。エトのいのししの年は非常に悪いのだと、その反
面ねずみ年になると活気よく動くという事でねずみ年
には悪い年はなかったという様な事を聞いています。
クラブ参加が楽しいなあというロータリーを考えてい

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会 長: 萩生田茂夫 副委員長: 吉尾警太郎 山崎 光一
幹 事: 橋口 洋三 委 員: 平野行廣・飯島裕美・根本泰寿
会報委員長: 小城 章員 関岡俊二・城倉正博・戸田昭寿

例会場 多摩そごう7F バンケットルーム

事務局: 東京都多摩市落合1-9-1
多摩センタービル7階
TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

6) 多摩市国際交流センター第3回シンポジウムのご案内が来ています。多摩グリーンRCが後援になっています。

1月21日(日) 12:45開場、13:15開演

パルテノン多摩小ホール

◎次年度会務報告 会長エレクト 遠藤 二郎

おめでとうございます。本日事務局に於て第2会被選理事会を開催致しました。理事の担当を決定して頂きました。定例被選理事会の開催日についても、審議頂き、決定頂きました。役員理事の担当委員会についてはお手元に配布させて頂きました。



委員会報告

◎出席報告 出席委員会副委員長 小坂 一郎

会員総数	54名
出席者数	46名
本日出席率	85.19%
12/20出席率	92.59%

■欠席届出者 8名

大松 誠二 橋本 幸夫 風間 茂穂
関岡 俊二 新海源四郎 城倉 正博
戸田 昭寿 海野 栄一

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会委員 坂田 育男

萩生田茂夫：新年あけましておめでとうございます。

後半期皆さんよろしくお願い致します。

萩生田茂夫：皆さんで楽しく飲んで下さい。

橋口 洋三：寿例会、あと下半期、ご協力よろしくお願い致します。

伊藤 英也：明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

小城 章員：吉沢さん、本日の卓話の原稿ありがとうございました。

中山順一郎：樽酒です。皆さんでどうぞお召し上がり下さい。

田中 實：おめでとうございます。

北村 幸彦：おめでとうございます。本年もよろしく。

大熊 将夫：新年おめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

遠藤 二郎：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく。

高村 弘：あけましておめでとうございます。

伊東 巖：孫が生まれて初めての正月を迎えたので。

須藤 起雄：おめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

猪股 末男：今年は良い年であります様にお願いします。

赤尾 恭雄：あけましておめでとうございます。今年も走らんか!!

藤本 吉文：あけましておめでとうございます。昨日退会しました小島さんと仕事の件で電話でお話をしました。最後に皆様によろしくとの事。

津守 弘範：除夜の鐘、新春大護摩には例年になく多くの人が出ました。

中山 恒武：本年もよろしくお願い致します。

宮本 誠：おめでとうございます。

関岡 俊二：都合で本日欠席です。皆さんにお会い出来ず残念です。今年もよろしく。

伊澤ケイ子：おめでとうございます。皆様の足手まといにならないように致します。どうぞお引き回しの程を。

山崎 光一：あけましておめでとうございます。

海野 栄一：新年あけましておめでとうございます。今晚都合により欠席します。

足立潤三郎：新春を迎えて。

平野 行廣：おめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

根本 泰守：あけましておめでとうございます。年賀状失礼しました。出したつもりで。

本日合計 金57,000円 本年度累計 金733,278円

◎GSE委員会

委員 赤尾 恭雄

昨日前が明けて最初の委員会がありました。課題が2つありまして1つは今月の29日にパシフィックホテルで ガバナーをはじめ地区の役員分区代理地区内クラブ会長の合同委員会、来年派遣学生の件、以上です。

【卓 話】

「医療雑感」—内科医として—

吉沢クリニック院長

吉沢 洋景



医師となるには

医師の資格を得る為には、医師国家試験に合格しなければなりません。この試験の為には、大学の医学部を卒業して医学士となるのです。医学部への進学は、以前は大学の一般教養を経て、3年目から医学部に編入するという事もあったようですが、現在では殆どが教養（医学進学課程）からの入学となります。この2年間の教養課程を終了して医学部へ進学します。はじめは基礎医学という解剖学、医化学、薬理学、生理学、細菌学等の医学の基礎を学びます。その後、病気を扱う臨床医学へと進み、内科系、外科系のすべての科目を学びます。ここを解かり易くいうと、各科目というのは主に患者に対して、その医師の専門が何か解かり易くしたに過ぎないのです。人体は一つのものであって、一つの病気は全身に関係する。一つの治療（薬にしても）は全身に影響があるので、一体の物であるという事です。他の大学医学部ではあまりない様ですが、私のいた慈恵医大では、歯学も受けました。米国では歯も一般医師の守備範囲ですというのがその理由でした。

医師となってから

こうして卒業した後には全国統一の医師国家試験を受け、合格すると医師という訳です。これから各自、自分の希望する専門科目を決めて、2年間の研修に入るのです。しかし中には医学の進歩、発展への貢献を目的に、あるいは生身の患者を扱うのを嫌って基礎医学へ行く者、又、行政に興味を持ち、厚生省等の役人になる者もおります。今日は最初のグループ、つまり臨床医についてのお話で進めます。

研修医となった者（昔でいうインターン生）は先任医師の指導の許で各科専門の知識、技術の修得に当たります。毎日まず12時前の帰宅はないでしょう。翌朝は6～7時の出勤を要求されます。週に一度は教授、そして病棟長の回診に参加します。皆さんはTV等でなじみのあの大名行列です。こうして研修を経て、10年もするとやっと一人前の臨床医として認められ、外来診療も与えられ、又、研究者として研究のテーマももらえるのです。その研究が認められれば博士となります。この頃より大学に残る者、実家の家業を継ぐ者、独立をする者等に分かれて来ます。この先が皆さんにもお解かりの医師像となります。

こうして出来上がった医師ですが、決して画一的ではありません。病気を冷徹に物理的に見る学究タイプの者、患者を人として苦痛を解かろうとする者、又別の面からは患者に権威的に接するタイプと患者のレベルにまで視線を降ろし平らに接するタイプに大別されます。それぞれに長所・短所があり、一概にどのタイプが良いかは言えません。要はどのタイプが自分に合うか、信頼出来るかでしょう。以上、医師の出来上りをご大雑把にお話しました。

この仕事は多くの人と接します。私の小クリニックでさえ登録された患者は2万人近くあり、大学時代を入れると3倍にはなるでしょう。長くこの仕事をしていると種々の感動、悲しみ、心暖まる話、怒り、赤面の至り、慚愧、抱腹絶倒の場面にぶつかります。話は体に心という正にプライバシーの根元に起因する事だけになおさらです。その一つ一つが小さな物語になる程です。このお話は又の機会に致しましょう。

最近の医療問題

今の医療界には、エイズ、生体臓器移植、脳死、癌告知等の話題、問題があります。これだけ人口に膾炙したエイズは一時のパニック状態はさめたのですが、解決した訳ではありません。むしろ危機感までもさめてしまった事が心配です。風俗営業の盛り返し、某社の血液製剤処理の不始末がそれを暗示します。生体臓器移植には脳死の問題がからみます。脳死に関しては一定のコンセンサスが得られつつありますが、臓器移植については、どうも消極的というよりむしろ否定的な意見が優勢です。移植技術の稚拙さがありますが、現代医学では、これ以外に救い方がない患者がたくさん待っているのです。待ち切れずに海外へ求めて

出て行く人がいるのも衆知の如くです。一方で血の通った医療を叫びながら、直接自分に関係のない事には都合の良い耳ざわりの良い言葉でそっぽを向く、一般知識人なる者、マスコミ関係の無責任ぶりには腹が立ちます。総論賛成、各論反対では話になりません。

癌の告知に感しては知る権利とやらの最近の風潮で支持はされておりますが、欧米の場合とは同レベルでは論じられません。私は宗教の違いによる考え方の影響が大きいと思います。死に関する考え方、残された人生の考え方、更に遺体に対する考え方が全く違う面があるからです。私の経験からは、慎重に告知の相手を選ぶべきであると考えます。

皆さんは『Informed Consent』という言葉聞いた事がありますか。これからの医療のあり方を示す一つの方法であります。Informedとは「知識を与える」事、Consentは「同意」です。つまり患者に病名、病態を教え、治療法を呈示する、又は、治療法の選択肢を呈示して患者に選ばせる。そして同意してもらうという事です。強制又は説得された医療より、納得した医療という意味では大いに賛成であり、すでに日本でも昔から行われて来た部分もあります。この方法は米国から出たものです、御存知の如く、米国では医療訴訟が頻繁に発生します。たまために医療側の自衛手段の一助として、患者にも責任の一部を担ってもらおうという背景があります。更にこれが日本に入ってから、知る権利が味付けをして変質したものになりつつあります。せっかくの良い方法ですが運用面で工夫が必要です。「何でも知る」のが良いのではなく、良質な医療を目的とするには要件によって知る必要性の有無を問うべきでありましょう。

以上、今日の医療問題に触れてみました。

(今週の担当：根本 泰守)

最近、新聞・テレビ等で頻繁に登場するようになった「ピロリ菌」について吉沢洋景会員より次の資料の提供を受けましたのでご一読下さい。

「胃・十二指腸潰瘍における最近の知見」

従来から、胃内のような強い酸性環境下では、細菌は存在しないと考えられてきたが、1983年、WarrenとMarshallによって胃炎患者の前庭部粘膜の生検組織中から、グラム陰性のらせん状短桿菌であるHelicobacter pylori (H. pylori)が分離培養された。その後この菌は、胃炎や胃潰瘍、十二指腸潰瘍患者の胃粘膜から高率に検出されることが報告され、これら疾患との関連性が注目されている。この菌は抗潰瘍剤と抗生物質投与により除菌され、症状や組織所見の改善がみられること、この菌をヒトボツシチアやサルに経口投与すると、活動性胃炎を惹起することなどから、これら疾患の病原菌と考えられている。しかし健常人の約半数にもこの菌の感染が認められ、感染時期が明確でないことから病原菌と断定できない点もある。

出典：浅田修二氏（日医雑誌113-2）より

.....

1996～97年度クラブ組織一覧表 クラブ役員及び理事

役 職		氏 名
役 員	会 長	遠 藤 二 郎
役 員	会長エレクト	吉 沢 洋 景
役 員	副会長	中 山 恒 武
役 員	幹 事	須 藤 起 雄
役員・理事	会 計	杉 山 英 巳
理 事	SAA委員長	横 倉 謙
理 事	職業奉仕委員長	赤 尾 恭 雄
理 事	社会奉仕委員長	高 村 弘
理 事	国際奉仕委員長	鶴 海 英三郎
理 事	青少年奉仕委員長	関 岡 俊 二
	副幹事	遠 藤 立 一

1 月は「ロータリー理解推進月間」です

R I 理事会は毎年1月を標記月間に指定。会員にロータリーについて一層知識と理解を深めてもらい、同時に一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間。1988年1月から実施。